

法人名	姫路医療生活協同組合
事業所名	北部

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				コメント	外部評価 コメント
				実施状況					
				できている	ほぼできている	できていないことが多い	全くできていない		
<b>I 構造評価 (Structure) [適正な事業運営]</b>									
<b>(1) 理念の明確化</b>									
①	サービスの特徴を踏まえた理念の明確化	1	当該サービスの特徴である「利用者等の在宅生活の継続」と「心身の機能の維持回復」を実現するため、事業所独自の理念を掲げている	○				法人の理念は『その人らしく気持ちよく生きる』、事業所の理念は『いつでもつながる安心』を提供し、その人らしい暮らしをささえます』理念は明確に掲げている。	自宅で安心して生活できるように声掛けを行って来ている
<b>(2) 適切な人材の育成</b>									
①	専門技術の向上のための取り組み	2	管理者と職員は、当該サービスの特徴および事業所の理念について、その内容を十分に認識している	○				職員間でサービスの特徴や理念の認識は共通のものとなっている。	自己評価の内容を確認しました。
		3	運営者は、専門技術(アセスメント、随時対応時のオペレーターの判断能力など)の向上のため、職員を育成するための具体的な仕組みの構築や、法人内外の研修を受ける機会等を確保している				○	管理者、職責者は研修機会があるが、その他の職員はなかなか研修が受けれていない状況。	自己評価の内容を確認しました。
		4	管理者は、サービス提供時の職員の配置等を検討する際、職員の能力が最大限に発揮され、能力開発が促されるよう配慮している	○				職員の能力を把握したうえで、統一したサービス提供できるように計画作成責任者とともに育成に努めている。必要に応じて個別指導を行っている。	自己評価の内容を確認しました。
②	介護職・看護職間の相互理解を深めるための機会の確保	5	介護職・看護職の間で、利用者等の特性・状況に係る相互の理解・認識の共有のための機会が、十分に確保されている		○			法人内看護職とは定期的に合同カンファレンスを開催する等、随時情報共有を行い、法人外看護職とは電話、ICTを活用し積極的に情報共有が行われている。	アセスメントだけのご利用でも、月に一度定期巡回から依頼してもらい、医療的視点から体調観察して頂けるのは安心感が大きい。
<b>(3) 適切な組織体制の構築</b>									
①	組織マネジメントの取り組み	6	利用者等の特性に応じた柔軟なサービスを提供するため、最適且つ柔軟な人材配置(業務・シフトの工夫)を行っている		○			随時対応・随時訪問に臨機応変且つ迅速に対応できるよう、適宜ルートの見直し、シフト調整を行っている。	土・日・祝日関係なく訪問してもらえることや、デイサービスを急遽休まれるなどがあっても追加訪問で対応してもらえて助かる。特に夜間、一人で広いエリアを対応するのは大変ではないか。
②	介護・医療連携推進会議で得られた意見等の適切な反映	7	介護・医療連携推進会議を適時適切に開催すると共に、得られた要望、助言等(サービスの過少供給に対する指摘、改善策の提案等)を、サービスの提供等に適切に反映させている		○			活発な意見交換が出来、その時に出了た意見や助言は事業所内で共有し、改善やサービス内容に反映出来ている。	なかなかサービスが行き届かない方に良いサービスだと思うが、要支援の方が利用できないのは残念である。
<b>(4) 適切な情報提供・共有のための基盤整備</b>									
①	利用者等の状況に係る情報の随時更新・共有のための環境整備	8	利用者等の状況について、(個人情報管理に配慮した上で)必要に応じて関係者間で迅速に共有できるよう工夫されている	○				スマホやビジネスチャット、介護ソフト等のICTを活用して利用者に関連する情報を、関わる関係者(家族、専門職等)と共有できるしくみがある。	サービス内容を確認した際に「分かりません」と返事があった。十分な共有をお願いしたい。
<b>(5) 安全管理の徹底</b>									
①	職員の安全管理	9	サービス提供に係る職員の安全確保や災害時の緊急体制の構築等のため、事業所においてその具体的な対策が講じられている(交通安全、夜間訪問時の防犯対策、災害時対応等)		○			建物内外側には防犯カメラを設置。法人内事業所の全車両にはドライブレコーダーを設置している。積雪や台風時に備えてハザードマップを事業所内の見えやすいところに掲示している。	自己評価の内容を確認しました。
②	利用者等の個人情報の保護	10	事業所において、利用者等に係る個人情報の適切な取り扱いと保護についての具体的な工夫が講じられているとともに、管理者や職員において共有されている	○				職員が事業所を不在にする時等は、随時書庫を施錠している。ICT導入により、個人IDにてログインしていき、個人情報が漏洩しないよう、取り扱いには細心の注意を払っている。ヘルパー会議で個人情報保護について共有出来ている。	スマホで関係者だけが閲覧できるシステムになっている
<b>II 過程評価 (Process)</b>									
<b>1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供</b>									

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				コメント	外部評価 コメント
				実施状況					
				できている	ほぼできている	できていないことが多い	全くできていない		
<b>(1)利用者等の状況把握及びアセスメントに基づく計画の作成</b>									
①	利用者等の24時間の暮らし全体に着目した、介護・看護両面からのアセスメントの実施	11	利用者等の一日の生活リズムに着目した、アセスメントが提案されている		○			日々の訪問で深堀のアセスメントを行い必要に応じてケア内容の見直しや提案が出来る	事業所や看護師からの情報提供やケアの提案を頂いている。利用者の状態が把握しやすい。
		12	介護・看護の両面からのアセスメントが適切に実施され、両者の共有、つぎ合わせ等が行われている	○				法人内外の訪問看護事業所とカンファレンスや電話連絡にて情報共有し、助言や訪問時の注意点、観察ポイントを確認、共有。	些細な情報も報告があり、介護と看護が利用者の状態を共有することで終末期の利用者を支えることが出来た。
②	利用者の心身の機能の維持回復や在宅生活の継続に軸足を置いた「未来志向型」の計画の作成	13	利用者の心身機能の維持回復に軸足を置いた計画の作成が志向されている	○				担当者会議等で話し合われた内容をもとに、ご本人と一緒に目標設定を行い、居宅サービス計画に沿って、心身機能の維持回復をめざす個別援助計画を作成している。	自己評価の内容を確認しました。
		14	重度化しても医療依存度を高め過ぎないように、利用者の今後の変化を予測し、先を見越した適切なリスク管理を実現するための、「未来志向型」の計画の作成が志向されている	○				多職種でカンファレンスを行い、医療面からのアドバイスを受け、先を見越したリスク回避に努めている。	看護師が医師に確認した内容をケアマネ、看護師、ヘルパーで共有でき、サービス内容や回数に反映してくれたことは良かった。
<b>(2)利用者等の状況変化への柔軟な対応と計画の見直し</b>									
①	計画上のサービス提供日時に限定されない、必要に応じた柔軟な定期巡回・随時対応サービスの提供	15	計画上のサービス提供日時以外であっても、利用者等の状況に変化が生じた場合は、必要に応じて新たに定期巡回・随時対応サービスの提供日時を設定するなど、柔軟な運営に努めている	○				利用者の体調変化等状況に応じて、サービス提供回数・時間・サービス内容を変更し対応している。電話対応など対応方法を工夫し柔軟な対応に努めている。	随時訪問で一番お世話になっていると思っています。コールに対して柔軟に動いていただき助かっている。
②	継続したモニタリングを通じた利用者等の状況変化の早期把握と、計画への適宜反映	16	サービス提供を通じた、継続的なモニタリングによる、利用者等の状況変化の早期把握と、計画への適宜反映が行われている	○				毎月モニタリングを行い、利用者の心身状況に変化のあった場合は、関連機関への報告と、サービス内容の見直し、計画の見直しを行っている。	自己評価の内容を確認しました。
<b>(3)介護職・看護職の協働による一体的なサービスの提供</b>									
①	介護職と看護職の相互の専門性を生かした柔軟なサービスの提供	17	より効率的・効果的なサービス提供を実現するため、介護職、看護職のそれぞれの専門性を生かした役割分担が行われている		○			看護職に利用者の状態変化時や服薬等について報告・相談を行い、その都度医療職の視点から指導や助言を受け、効率的なサービスが提供できるよう努めている。状況により看護職が対応することもある。	介護職と看護師が連携し些細な状態変化でも報告があり、それについて対応してもらっている
②	看護職によるサービス提供に関する指導、助言	18	看護職から介護職に対し、疾病予防・病状の予後予測・心身の機能の維持回復などの観点から、指導、助言が行われている		○			利用者の便の状態や血圧等の観察の視点や、介助方法、ケア内容について助言を受けている。	体調の変化に応じて看護師と連携を取り対応していることが良く分かった。
<b>(4)利用者等との情報及び意識の共有</b>									
①	利用者等に対する当該サービスの趣旨及び特徴等についての十分な情報提供	19	サービスの開始前に、利用者等に本サービスが「利用者等の在宅生活の継続」と「心身の機能の維持回復」を実現するためのサービスであり、訪問サービスは、その趣旨に沿って行われるアセスメントに基づき提供されることについて、十分な情報提供・説明が行われている	○				利用者、家族にサービス開始前に事業所のパンフレットや重要事項説明書を用いて在宅生活の継続と心身機能の維持回復を実現できるよう、説明を行っている。	自己評価の内容を確認しました。
②	利用者等との目標及び計画の共有と、適時適切な情報の提供	20	作成した計画の目標及びその内容について、利用者等に十分な説明を行うなど、共通の認識を得るための努力がされている	○				居宅サービス計画に基づいた個別援助計画を作成し、目標等の内容を一緒に確認し、同意の署名を頂いている。	自己評価の内容を確認しました。

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				コメント	外部評価 コメント
				実施状況					
				できている	ほぼでき ている	できてい ないこと が多い	全くでき ていない		
		21	利用者の状況の変化や、それに伴うサービス提供の変化等について、家族等への適時・適切な報告・相談等が行われている		○			必要時、ケアマネやキーパーソンへ報告や相談を行い状況に合わせたサービスの提案を行っている。	自己評価の内容を確認しました。
<b>2. 多職種連携に基づいた包括的・継続的マネジメント</b>									
<b>(1) 共同ケアマネジメントの実践</b>									
①	利用者等の状況の変化についての、ケアマネジャーとの適切な情報共有及びケアプランへの積極的な提案	22	ケアマネジャーとの間で、利用者へのサービス提供状況、心身の機能の変化、周辺環境の変化等に係る情報が共有され、サービスの提供日時等が共同で決められている	○				ICTを活用し、ケアマネと利用者の情報共有を行うことで、状態の変化に応じたサービス提供日時の変更や相談を行っている。	ITCを活用し利用者の情報がリアルタイムで閲覧できる。電話でも提案や相談がある
		23	計画の目標達成のために、必要に応じて、ケアプランへの積極的な提案(地域内のフォーマル・インフォーマルサービスの活用等を含む)が行われている		○			地域全体で利用者を支えられるよう、買い物や通院、受薬等は、インフォーマルサービスの提案を積極的に行っている。	必要に応じて通院介助等、自費ヘルパーを提案し実際に利用している
②	定期的なアセスメント結果や目標の達成状況等に関する、多職種への積極的な情報提供	24	サービス担当者会議等の場を通じて、利用者等の状況や計画目標の達成状況について、多職種への情報提供が行われている		○			担当者会議に積極的に参加し、目標達成状況について多職種間で共有出来ている。	自己評価の内容を確認しました。
<b>(2) 多職種連携を通じた包括的・継続的マネジメントへの貢献</b>									
①	利用者の在宅生活の継続に必要なとなる、利用者等に対する包括的なサポートについての、多職種による検討	25	利用者の在宅生活の継続に必要なとなる、包括的なサポート(保険外サービス、インフォーマルケア等の活用を含む)について、必要に応じて多職種による検討が行われている(※任意評価項目)		○			配食サービスや介護保険以外の生活援助について利用者の在宅生活継続のため必要と思われるサービスを、その都度提案している。	通院介助やふれあい給食を利用されている利用者もいる。今後も必要に応じてインフォーマルサービスを提案していきたい。
		26	病院・施設への入院・入所、及び病院・施設からの退院・退所の際などに、切れ目のない介護・看護サービスを提供するために、必要に応じて多職種による検討や情報の共有が行われている(※任意評価項目)	○				退院前カンファレンスに参加し、多職種による検討や情報の共有の場を確保している。	退院前カンファレンスで共有した内容を退院後のケアに反映させている。
②	多職種による効果的な役割分担及び連携に係る検討と、必要に応じた関係者等への積極的な提案	27	地域における利用者の在宅生活の継続に必要なとなる、包括的なサポート体制を構築するため、多職種による効果的な役割分担や連携方策等について検討し、共有がされている(※任意評価項目)			○		専門職が適時適切に関わり、連携できる体勢に取り組み中。	自己評価の内容を確認しました。
<b>3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画</b>									
<b>(1) 地域への積極的な情報発信及び提案</b>									
①	介護・医療連携推進会議の記録や、サービスの概要及び効果等の、地域に向けた積極的な情報の発信	28	介護・医療連携推進会議の記録について、誰でも見ることのできるような方法での情報発信が、迅速に行われている	○				報告書を作成し、会議録を誰でも見られるようにファイリングし、事務所に置いている。会議報告書を関係者各位に送付している。	自己評価の内容を確認しました。
		29	当該サービスの概要や効果等についての、地域における正しい理解を広めるため、積極的な広報周知が行われている		○			地域のオレンジカフェに参加し、周知活動が行えた。実績返却時にパンフレットを持参し概要や効果について短時間ではあるが行うことが出来た。	事例を基に定期巡回サービスの説明をしていただきイメージが出来た。分かりやすくまたお願いしたいと思っている。
<b>(2) 地域包括ケアシステムの構築に向けての、まちづくりへの参画</b>									
①	行政の地域包括ケアシステム構築に係る方針や計画の理解	30	行政が介護保険事業計画等で掲げている、地域包括ケアシステムの構築方針や計画の内容等について十分に理解している		○			法人から、定期巡回サービスが地域包括ケアシステムの中核を担うサービスのひとつであることは、常時発信されている。職員の理解度にばらつきがあるため、ヘルパー会議で学習の場を設けている。	自己評価の内容を確認しました。

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				外部評価 コメント	
				実施状況					コメント
				できている	ほぼでき ている	できてい ないこと が多い	全くでき ていない		
②	サービス提供における、地域への展開	31	サービスの提供エリアについて、特定の建物等に限定せず、地域へ広く展開していくことが志向されている	○				地域に展開しているため特定の建物に限定したサービス提供は行っていない。	自己評価の内容を確認しました。
③	安心して暮らせるまちづくりに向けた、積極的な課題提起、改善策の提案等	32	当該サービスの提供等を通じて得た情報や知見、多様な関係者とのネットワーク等を活用し、介護・看護の観点から、まちづくりに係る問題認識を広い関係者間で共有し、必要に応じて具体的な課題提起、改善策の提案等(保険外サービスやインフォーマルサービスの開発・活用等)が行われている(※任意評価項目)			○		在宅で生活される高齢者にとって、より住みやすい地域にするため、フォーマルサービスだけでなくインフォーマルサービスも提案している。	自己評価の内容を確認しました。
①	サービス導入後の利用者の変化	33	サービスの導入により、利用者ごとの計画目標の達成が図られている	○				自立支援を念頭に達成しやすい目標を設定し、適宜評価を行っている。	利用者の自立が支援できるように声掛けや誘導を行って欲しい。
②	在宅生活の継続に対する安心感	34	サービスの導入により、利用者等において、在宅生活の継続に対する安心感が得られている		○			コール機の設置やキッズ携帯を持っていただき、「困ったときはいつでも連絡してください」と声掛けを行うことで、安心感に繋がっている。離れて暮らす家族には訪問時の様子がいつでも閲覧できる状況を整えている。	利用者や家族からは安心という声が上がっている。家族の負担が大きく施設入所となった事例もある。